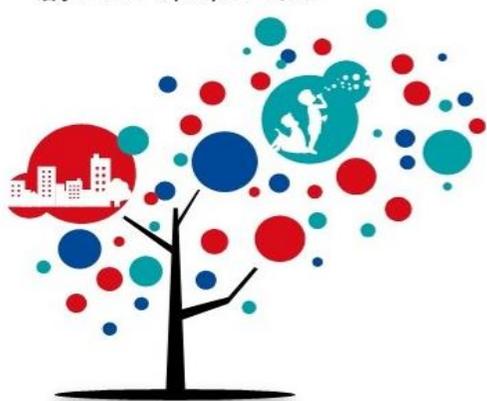




株式会社 浅沼組

誇れる歴史がある  
創りたい未来がある



# 会社説明会

2020年2月15日（土）

証券コード：1852

1. 会社概要
2. 中期3ヵ年計画
3. 株主還元
4. 社会貢献活動
5. その他の活動



ほこ  
誇れる歴史がある  
つく  
創りたい未来がある

[享保9年]

1724

柳澤吉里の甲府から大和郡山藩への転封に浅沼仁左衛門も同藩の普請方として随伴  
以後、仁左衛門から8代目の浅沼幸吉まで、同藩の普請方を務める

明治維新後、浅沼幸吉は郡山にとどまり、大工棟梁として、奈良付近の名刹社寺の造営、修繕や学校建築に従事する

[元禄8年]

1692

柳澤吉保が武蔵国川越城を陥り城持ち大名となった際、普請方の一人として、浅沼仁左衛門が仕える

1940

大阪市天王寺区  
東高津町に本社ビル建設

[昭和12年]

1937

会社設立

株式会社浅沼組設立  
資本金1百万円、完工高 1,448千円、社員数62名  
大阪支店を本店に昇格(郡山の本店は営業所へ)

[大正15年]

1926

大阪進出

大阪支店開設(大阪市東成区小橋町)

[明治34年]

1901

浅沼猪之吉(初代)、  
浅沼組を継承

[明治25年]

1892

創業

浅沼幸吉、郡山町大字材木47番地  
(現 大和郡山市材木町)に、建築請負業の  
看板をあげて開業「浅沼組」誕生

[昭和44年]

1969

東証一部上場

東京証券取引所市場一部上場  
(5月7日 初値 210円)  
受注高 40,382百万円、  
完工高 30,805百万円

[昭和32年]

1957

北海道進出

札幌営業所開設  
(のちに昭和40年  
札幌支店  
[現 北海道支店])

[昭和43年]

1968

大阪証券取引所  
市場一部に指定替

[昭和14年]

1939

東京・名古屋進出

東京営業所開設  
(のちに昭和21年 東京支店、  
昭和52年 東京本社[現 東京本店])  
名古屋営業所開設  
(のちに昭和22年 名古屋支店)

[昭和9年]

1934

浅沼猪之吉(二代目)、  
浅沼組を継承

1992

創業100周年  
CI導入 新社章の制定

1990

上場来最高値を記録  
(3月8日 終値1620円)

[昭和62年]

1987

会社設立50周年  
技術研究所発足

2018

浅沼誠 社長就任

[平成29年]

2017

創業125周年  
新経営方針及び、  
コーポレート  
スローガン制定

1995

浅沼健一 社長就任

[平成元年]

1989

浅沼祐夫 社長就任

1977

完工高1千億円を超える

[昭和50年]

1975

浅沼茂夫 社長就任

[昭和38年]

1963

株式上場(大阪二部)九州進出

大阪証券取引所市場二部上場  
(7月12日 売出値320円、終値425円)  
受注高10,171百万円、完工高 8,426百万円  
福岡営業所開設  
(のちに昭和40年 福岡支店[現 九州支店])

[昭和30年]

1955

広島・東北進出

広島出張所開設  
(のちに昭和32年 広島営業所、  
昭和41年 広島支店)  
仙台営業所開設  
(のちに昭和40年 仙台支店[現 東北支店])

## 創業理念

[和の精神] [誠意・熱意・創意]

## 経営方針

### I 基本理念

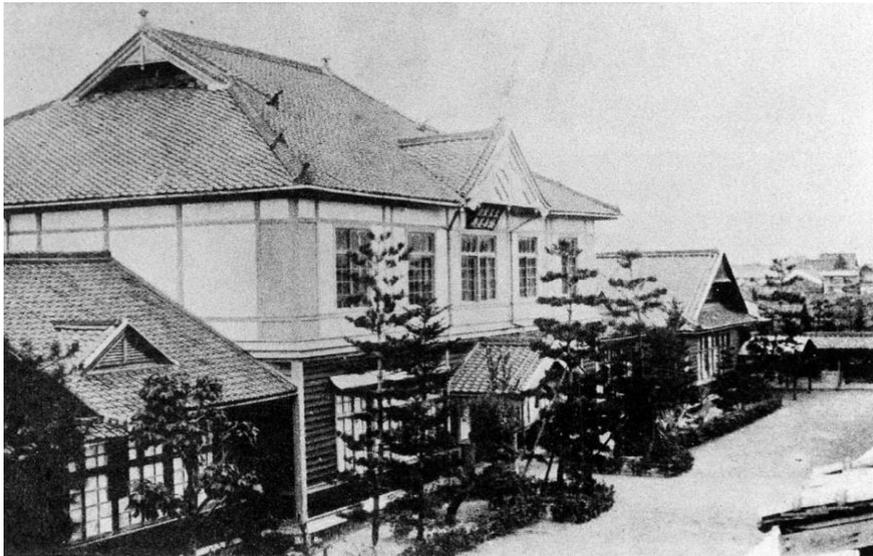
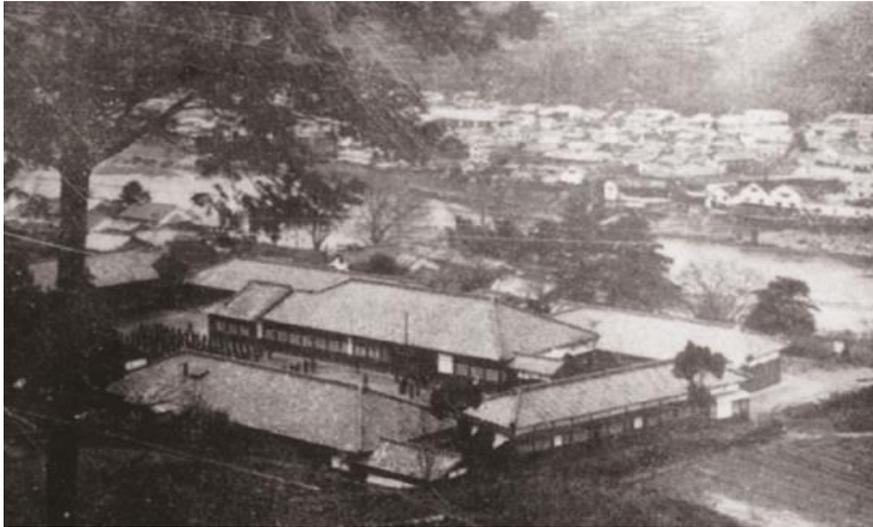
創業理念である「和の精神」「誠意・熱意・創意」のもと、「仕事が生きていく」の精神に則り、  
誠実なモノづくりに専心し、社会の安全・安心・快適の増進に寄与します。

### II 基本方針

- 基本理念に則った事業活動を通じ、お客さまをはじめとする、あらゆるステークホルダーから信頼され、選ばれ、そして感謝される企業を目指します。
- 変化する社会やお客さまのニーズに柔軟に対応するための技術力、知力、感性を磨き、組織力を以て事業を継続、発展させます。
- 机上の議論より実践を重んじ、現場・現物・現人を見極め、的確かつ迅速にことにあたります。
- 法令と社会のルールを遵守し、公正な堅実経営に徹します。

1882

吉野師範学校



1892

奈良県立郡山中学校



1896

奈良県立畝傍中学校

1912

六十八銀行本店



Asanuma

1966

南都銀行高野口支店



2003

南都銀行郡山支店



1962

南都銀行奈良市南支店



1929

大阪市立桃山病院



1961

大和郡山市庁舎



1968

大阪万国博プレスセンター



1970

万博 ラオス館



**1995**

戸ノ内災害  
復旧工事



**1997**

3号神戸線復旧工事



**1995**

東海道線御影B V外災害復旧工事



**1995**

鷹取駅災害応急復旧工事



2003

シティータワー大阪  
CFT構造賞



2008

京都大学 稲盛財団記念館  
BCS賞



2016

城東区複合施設  
大阪都市景観建築賞 (大阪まちなみ賞)



2008

宮内庁  
正倉院事務所  
BCS賞



## 2. 中期3カ年計画 概要 ①

### 浅沼組の目指す企業像

コーポレート・スローガン <sup>ほこ</sup> 誇れる歴史がある <sup>つく</sup> 創りたい未来がある

私たちが大切にしているものは、125年の長きにわたり培ってきた

先人から受け継いできた

**伝統**

お客さまとともに築いてきた

**信頼**

浅沼組を支えるすべての

**ひと**

～創業150年(2042年)も変わらず「社会の安全・安心・快適の増進に寄与」する企業であるために～

目指す企業像

- 技術とノウハウに裏打ちされた独自性をもって、顧客に選ばれる企業
- 変化を的確に捉え、ニーズに誠実に対応し、社会から信頼される企業
- 社会の期待に応え、社員が誇りをもって働き、継続的に成長する企業

## 2. 中期3カ年計画 概要 ②

### 2018年～2020年度を基礎固めの3年と位置づけ

○テーマ	浅沼組らしさ（独自性）の追求
○基本方針	建設事業における収益力・競争力のさらなる強化
	新技術・新事業への挑戦
	持続的成長に資する経営基盤の確立
○資金投入	目指す企業像の実現に向け、3年間で 200 億円 の資金投入
○株主還元	安定した配当維持を第一に、財務体質の改善や将来に備えた内部留保の充実を基本方針とし、業績に応じた適正な利益還元を実施

## 2. 中期3カ年計画 数値目標

(単位：億円)

	2019/3 中期計画	2019/3 実績	2020/3 中期計画	2020/3 Q3実績	進捗率	2021/3 中期計画
受注高	1,300	1,537	1,330	1,068	79.5%	1,360
売上高	1,295	1,357	1,386	1,040	77.2%	1,389
営業利益	49	57	62	49	79.0%	72
親会社株主に帰属する 当期純利益	32	41	40	32	78.0%	47

	2019/3 中期計画	2019/3 実績	2020/3 中期計画	2020/3 Q3実績	2021/3 中期計画
営業利益率	3.8%	4.2%	4.6%	4.8%	5.2%
投下資本利益率 (ROIC)	7.0%	8.1%	8.4%	—	9.2%
自己資本利益率 (ROE)	9.0%	11.5%	10.6%	—	11.4%
自己資本比率	36.0%	36.6%	41.0%	39.3%	47.0%
資本コスト (WACC)	5.0%	5.1%	5.0%	—	5.0%

## 2. 中期3カ年計画 進捗状況 ①

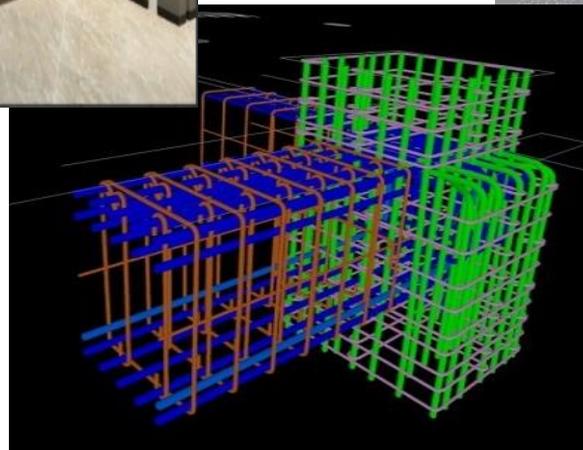
建設事業における収益力・競争力のさらなる強化

ICT活用による生産性向上 BIM・CIM活用



BIM  
マンションエントランス

BIM  
鉄筋の配筋図



CIM トンネルの3D

## 2. 中期3カ年計画 進捗状況 ②

建設事業における収益力・競争力のさらなる強化

ICT活用による生産性向上 VR技術活用による学習システムの開発



VRによる作業所の疑似体験



# 2. 中期3カ年計画 進捗状況 ③-1

## 建設事業における収益力・競争力のさらなる強化

### ICT活用による生産性向上 熟練技能維持システムの開発

# AI-MAP SYSTEM (アイマップシステム)

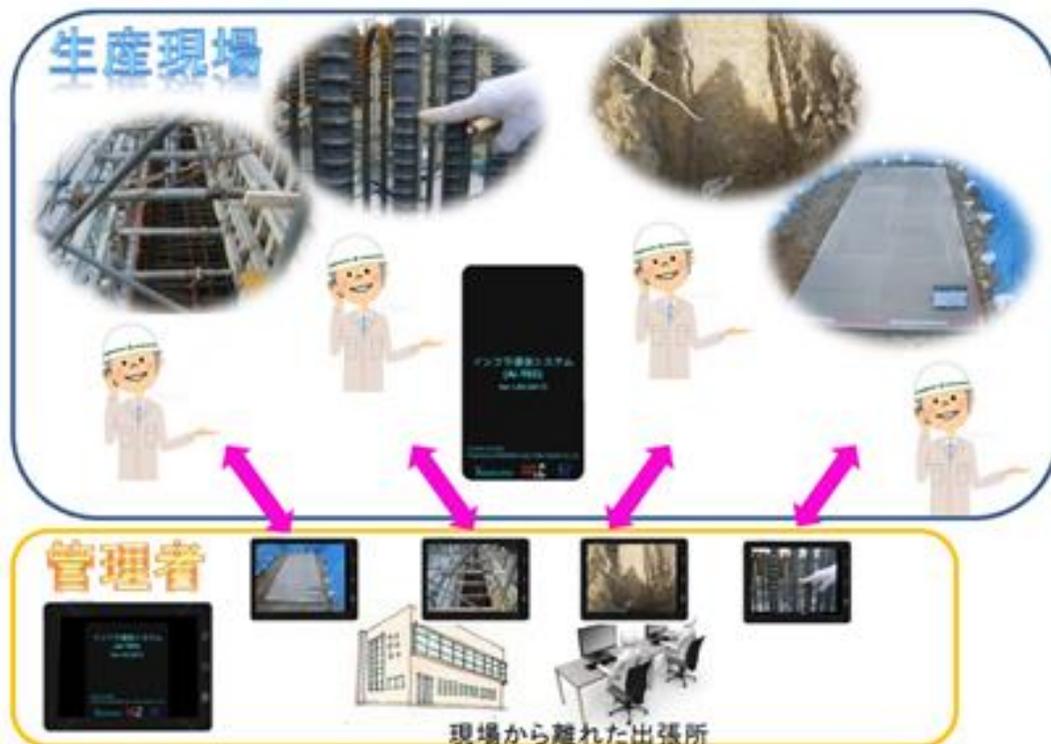


## 2. 中期3カ年計画 進捗状況 ③-2

### 建設事業における収益力・競争力のさらなる強化

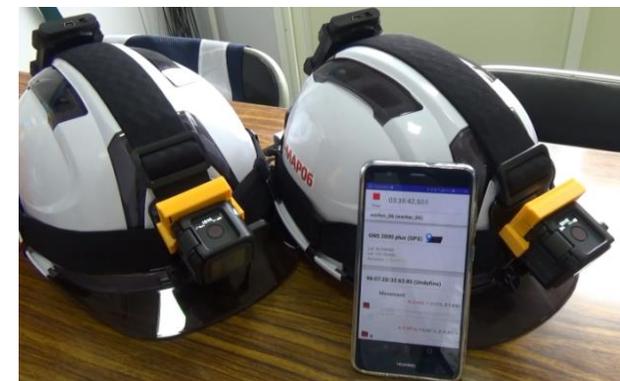
#### Ai-MAP SYSTEM

##### Ai-TEC



コミュニケーション型通信システムを活用した情報収集(イメージ図)

##### Ai-LOGGER



##### Ai-MOTION

## 2. 中期3カ年計画 進捗状況 ④

建設事業における収益力・競争力のさらなる強化

リニューアル強化 リニューアルブランディング計画

ブランディングにより  
リニューアル事業の差別化、強化、深化を推進



「○○といえば浅沼組のリニューアル事業ブランド」  
として市場認知を獲得し、事業機会の創出につなげる



展示会の様子

## 2. 中期3カ年計画 進捗状況 ⑤

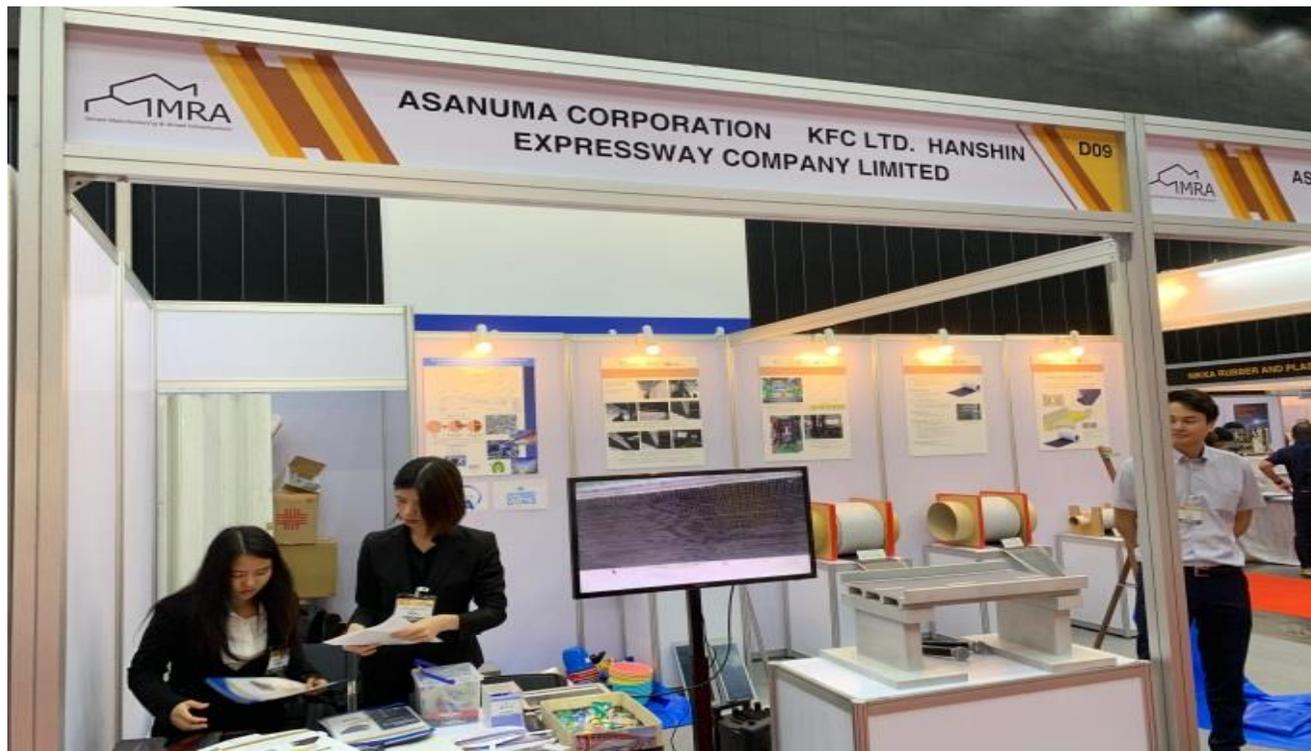
### 新技術・新事業への挑戦

### 新技術・工法への積極的な取り組み推進

#### ○特殊積層繊維シートの実用化

阪神高速道路(株)・(株)ケー・エフ・シー 共同開発

タイ王国のバンコクに於いて開催されました [メンテナンス&レジリエンス アジア 2019] に出展



このJICAの事業は、SDGsのゴール9に当てはまり、  
強靭なインフラ構築、包括的かつ  
持続可能な産業化の促進  
及びイノベーションの推進に貢献しています。



## 2. 中期3カ年計画 進捗状況 ⑥

### 持続的成長に資する経営基盤の確立

<p>優秀な人材の確保・育成 および活躍できる環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職務給の導入                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人事給与制度導入（2018年4月より）</li> </ul> </li> <li>○ボランティア休暇の導入（2019年4月より）</li> <li>○フレックスタイムの導入（2019年4月より、リニューアル担当者対象）</li> <li>○週休2日に向けた取組み                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年3月までに官庁工事において4週6閉所、民間工事において4週5閉所を実現</li> </ul> </li> </ul>
<p>コーポレート・ガバナンスの さらなる強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社外取締役の増員                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の社外取締役を増員（指名・報酬委員会の委員に任命）</li> <li><b>2019年6月株主総会後 25.0% → 37.5%</b></li> </ul> </li> <li>○指名・報酬委員会の適切な運営                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表取締役の選任解任基準の明確化</li> <li>・開催日数の増加（2018年度 7回 → 2019年度1月末 9回）</li> <li><b>2019年6月株主総会後 50.0% → 60.0%</b></li> </ul> </li> <li>○IRの強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・株主総会における議決権電子行使システム導入</li> <li>・英文の開示情報を充実</li> </ul> </li> </ul>

## 2. 中期3カ年計画 進捗状況 ⑦

### 資金投入計画について

#### ◆技術研究所 増築、改修（2019年3月末オープン）

特 徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・リニューアル分野では関西圏でトップクラスの設備</li><li>・関西圏の大学および公的試験所との連携</li></ul>
改 修 関 連	<ul style="list-style-type: none"><li>・研修・会議エリアを設置し、若手社員や協力会社の技術者の研修、体験型教育の実施</li><li>・試験機器の更新</li></ul>
増 築 関 連	<ul style="list-style-type: none"><li>・地震モニタリングシステムの設置</li><li>・多目的実験スペースの設置</li></ul>



増築棟と自然光照明を用いた多目的実験スペース



増築棟



全景



制震ダンパー

## 2. 中期3カ年計画 進捗状況 ⑧

### 資金投入計画について

#### ◆海外事業強化

名 称	SINGAPORE PAINTS & CONTRACTOR PTE. LTD.
所 在 地	シンガポール
事 業 内 容	建物塗装・修繕工事請負業
議 決 権 所 有 割 合	2018年10月 80% 株式取得 2023年10月 20% 株式取得
買 収 理 由	アセアン地域でのリニューアル事業展開

#### ◆協力会社との連携強化を目的とした支払いの現金化

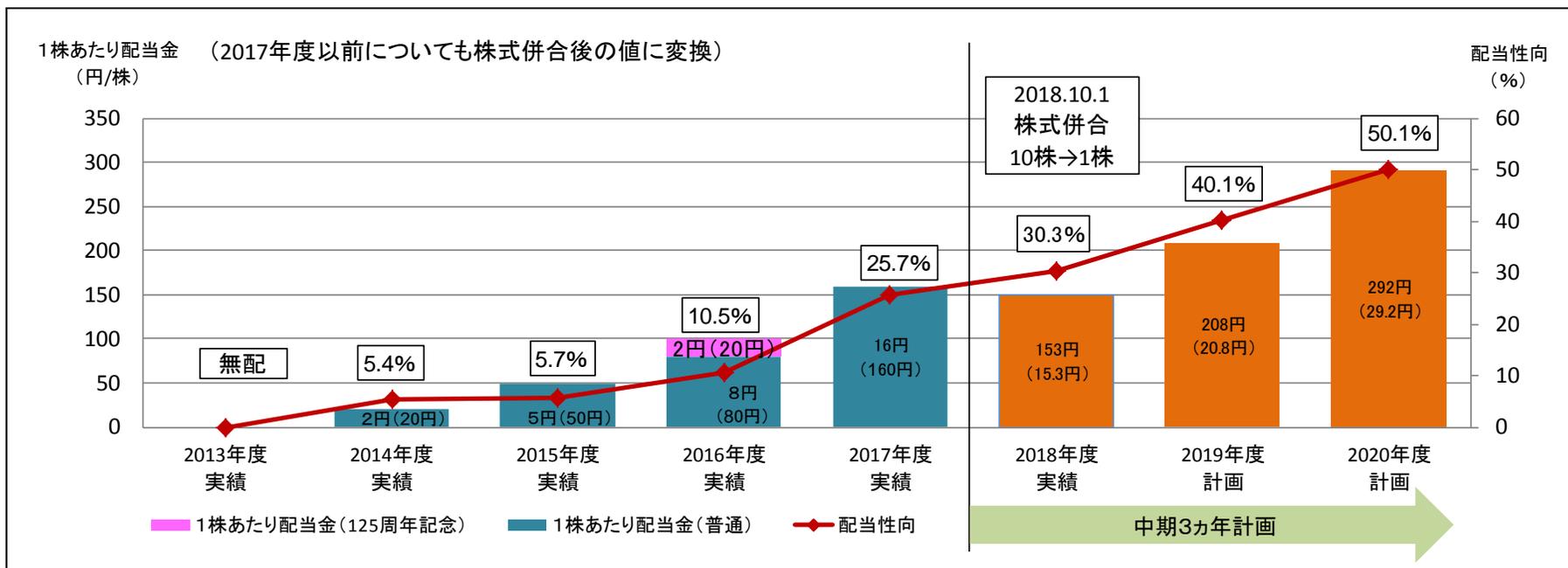
現 金 比 率 向 上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年8月支払い分より手形発行金額の下限を5,000万円以上に引き上げ、現金支払い比率を拡大</li> <li>・<b>2020年1月支払いより100%現金支払い</b></li> </ul>
-------------	--

# 3. 株主還元 ①

## 基本方針

安定した配当維持を第一に、財務体質の一層の改善や将来に備えた内部留保の充実を基本方針とし、業績に応じた適正な利益還元を実施します。

2018年度計画	2019年度計画	2020年度計画
30%以上	40%以上	50%以上



### 3. 株主還元 ②

#### 自己株式の取得及び消却について

株主還元の充実および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行する為に自己株式の取得を行い、取得資金については、政策保有株式の一部を売却した売却資金を充当しました。

#### 取得について

取得に係る事項の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>取得し得る株式の総数 330,000株（上限）</li><li>株式の取得価額の総額 1,000,000,000円（上限）</li></ul>
結果	<ul style="list-style-type: none"><li>取得株式数 313,600株取得</li><li>取得費用 999,933,700円</li><li>取得期間 2018年11月12日より 2019年1月16日</li></ul>

#### 消却について

消却について	<ul style="list-style-type: none"><li>消却株数 430,000株 (消却前の発行済株式総数に対する割合 5.05%)</li><li>消却日 2019年5月31日</li><li>発行済株式総数 消却前 8,508,629株 消却後 8,078,629株</li></ul>
--------	--

## 4. 社会貢献活動 ①

### 浅沼組 社会貢献基本方針

私たちは、社会の一員として社会のあるべきかたちの実現のため、社員一人一人が社会的責任を自覚し、積極的に社会貢献活動を推進していきます。

### 2019年4月以降の協賛団体の活動報告



日本身体障害者野球連盟  
全国大会 5/19・20  
始球式の様子



日本ブラインドテニス連盟  
スペイン国際大会 6/9

大野選手  
B1クラス男子の部優勝  
大会MVP

## 4. 社会貢献活動 ②

### 「修羅と石」展示場を提供

修羅とは築城の際に巨石などを運搬したそりの一種で、木製の台と丸太（ころ）から成り、郡山城の築城時にも用いられたとされています。



### 学園前アートフェスタ協賛

地域が一体となり、街を育てることを目的としたアートイベント。同地域に位置する「浅沼記念館」を会場の一つとして2015年の第1回より提供しております。



# 5. その他の活動

## 作業所での見学会の開催

地元自治会や小中高校など地域住民を対象とした見学会を開催しています。



## 文化・芸術活動支援

アートアンドアーキテクトフェスタ参加・協賛

比叡山で行なわれた建築学生ワークショップの様子



## その他活動支援

大阪交響楽団 (<http://sym.jp/>)

大阪フィルハーモニー交響楽団

(<http://www.osaka-phil.com/>)

関西二期会 (<http://kansai-nikikai.com/>)

社名	株式会社浅沼組 (ASANUMA CORPORATION)
代表者名	代表取締役社長 浅沼 誠
創業	1892年（明治25年）1月20日
設立	1937年（昭和12年）6月15日
資本金	9,614百万円
事業内容	総合建設業
従業員数	1,427名（連結）1,266名（単体）（2019年3月31日現在）
本社所在地	大阪市浪速区湊町一丁目2番3号 マルイト難波ビル
本支店	東京、名古屋、九州、広島、東北、北海道、さいたま、横浜、神戸、技術研究所
営業所	盛岡、福島、千葉、多摩、北陸、静岡、三重、京滋、奈良、沖縄、グアム、カンボジア

# 2019年 トピックス

浅沼組の最近のトピックスをご紹介します。

- 8/1 技術発表会を開催
- 10/16 開発中のAi-MAP SYSTEMがBIMCIM特集に取り上げられました。
- 10/30 作業所生産性向上策発表会を開催
- 12/24 郡山高校にエアコン寄贈

2019/10/16付 日刊建設通信新聞

### アイマップシステム 技能定量化し生産能力維持



古（いにしえ）から培われてきた勘やコツなどの熟練技能は、生産性向上対策の鍵になるものとわが社では考えている。そこで、技能のアーカイブによる生産能力維持を目的とした、『アイマップシステム』の開発を進めている。技能を定量化するために、独自開発のヘルメットログや通信システムなどのセンシングツールと解析手法で、管理者や施工者の意思決定促進、未熟者の教育訓練ツールおよび災害時の情報収集ツールとして汎用化を目指している。（田村 泰史 / 戦略事業推進部新技術事業化推進室課長）

浅沼組



### 技術発表会 誇り確かめ合う場に

浅沼組は1日、東京本店をメイン会場に全国7本支店をテレビ会議システムでつなぎ、2019年度技術発表会を開いた。全店で約280人の社員が参加した。全日本建設技術協会の大石久和会長が「インフラが切り開く未来、経済成長なくして財政再建なし」と題して特別講演したほか、社員投票と審査で選ばれた発表者が施工技術・開発に関するテーマで発表

し、参加者や発表者は活発に質疑を交わした。冒頭、あいさつに立った浅沼組社長は「浅沼組の社員として誇りをもつて仕事をしよ。その誇りを支える大きな柱は技術のこたわりだ。技術発表会は『浅沼組らしい技術へのこだわり』を共有し、誇りを確かめ合う場だと考えている。第19回となる技術発表会を通じて誇りを浅沼組らしく技術を通じて、『浅沼組良かった』と言ってもらえるように良いイメージをみんなに進めよう」と呼び掛けた。写真。発表順は次のとおり。

〈社長賞〉コンクリート床のひび割れ対策  
〈優秀賞〉ジャッキアップ量を最小限にした免震装置交換工事  
〈超高度物件における「雨仕舞」技術への取組のVRS（V成）工法による床コンクリート押えの取組のV西名阪自動車道連続橋8日間通行止め工事体制による前面空荷注水の施工の様子

2019/8/23付 日刊建設通信新聞

**協働の成果披露**  
浅沼組が初の作業所生産性向上策発表式  
浅沼組は10月30日、「第1回協力会社様協働による作業所生産性向上策発表式」発表会（を大阪本店（大阪市）で開催した。大阪本店のほか東京本店と東北・北海道・広島・九州・名古屋の5支店ともテレビ会議でつなぎ、計200人が参加した。同社作業所で実践された生産性向上策の中から社員投票



社長賞表彰

などの審査を経て選出された。社長賞と優秀賞計4件が表彰を受けた。式に先立ち浅沼組社長は「作業所の生産性向上

には、協力会社との協働による作業所独自のアイデアをもとに具現化した取り組みを情報収集し、水平展開することが有効だ。今回の発表内容に刺激を受けることで、ともに作業所で働く協力会社の皆さんと知恵を出し合い、さらに多くの生産性向上策が集まることを願っている」とあいさつした。

表彰式後は受賞事例の発表も行われ、発表は盛況であった。4件の発表は次のとおり。

△梁型枠ユニット化する工期短縮Ⅱ（飯橋）天王寺区東高津町計画新築工事作業所と第五建設 優秀賞  
△既存住宅工法を活用することで深基礎杭を早期に解体できる理由から梁の取付工事に両部のハリボルト（サ）を使ってみたⅡ（飯橋）タワー・サ・ファースト名古屋東区作業所と吉屋組  
△路上駐車場防水押さえコンクリートのワイヤメッシュ配筋にかわるバルチップ採用による資材（省力化Ⅱ）（飯橋）DPL川口 優秀賞  
△トンネル補修工事におけるDスキナアタを用いた現状把握Ⅱ西名阪自動車道田尻トンネル（上り線）修繕トンネル補修工事作業所とケー・エフ・

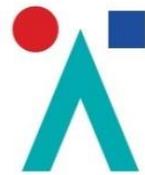


南都銀行（奈良市、橋本 隆史頭取）は24日、浅沼組（大阪府、浅沼誠社長）の郡山高校（土居正明校長）の郡山高校にエアコン寄贈式に出席した（右から）浅沼社長、土居校長、木下部長＝24日、堺内町の県立郡山高

に、同校倉庫で使用するエアコンⅠ式を寄贈した。今年4月から開始した同私募債は、同行のSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みに賛同する企業が発行、引き受ける同行が起債額の0.2%相当額の範囲内で、児童・学生などの成長や勉学を応援する物品などを寄贈（寄付）する。寄贈先は同行営業エリア内の国公私立学校や地方公共団体（教育関連）、特定公益増進法人などで、発行企業が指定できる。今回の寄贈が21件目。大和郡山市城内町の同校での寄贈式では、同行本店営業部の木下茂樹部長が同校の土居校長に目録を手渡した。同校へ寄贈を決めた同社の浅沼社長は「創業の地で郡山高の一歩校舎を建てた縁もあり、私にとって大和郡山は大切な場所。将来活躍する生徒たちの一助になれば」と理由を説明。同校の土居校長は「食堂も浅沼組に施工していた。浅沼の生徒たちからの希望の品で非常にありがたい」と感謝を述べた。同行の木下部長は「私募債を通じた連携で社会貢献ができた」と話した。

2019/12/25付 奈良新聞

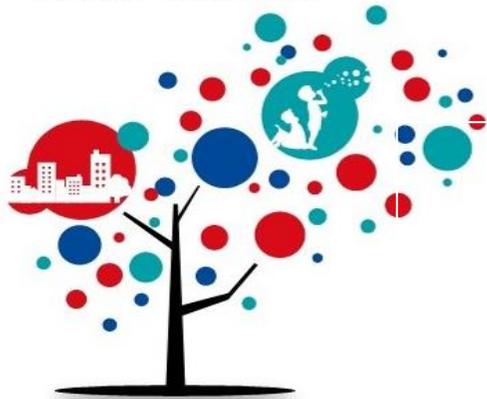
2019/11/8付 日刊建設通信新聞



# 株式会社 浅沼組

2020年2月15日（土）

誇れる歴史がある  
創りたい未来がある



お問合せ先

コーポレート・コミュニケーション部

T e l 06-6585-5500 F a x 06-6585-5556